

「防災ボランティアドリームチーム集結を応援する会」へのご協力をお願い

3月11日に発生した「東日本大震災」では、マグニチュード9という、私たちがかつて経ことのない巨大地震でした。

さらに地震直後は、これまでの想定を遙かに超えた大津波が襲来し、北は北海道から南は千葉県に至るまでの太平洋沿岸に壊滅的な被害をもたらし、まさに未曾有の大災害となりました。

現地に足を踏み入れると信じがたい光景が広がっています。

先日も宮城県災害対策本部の東海林副参事とお話ししましたが、ガレキ撤去だけでも5年はかかると話しておられました。

我々は震災直後から微力ながら被災地の希望に合わせ、物資を毎週運んでおりました。

カブコホームズジャパンの大山氏と被災地にトレーラーハウスを運び、ボランティアを支えるボランティアをやるということになり、宮城県災害対策本部に頻繁に足を運びました。

トレーラーハウスの受け入れ先が気仙沼の県有地に決定し、4月10日に笠間よりトレーラーハウスを陸送。被災直後で道はでこぼこ、その上トンネル等通れないところがありましたが、苦勞のすえ最終的には6棟を気仙沼に設置し、電気、水道、下水等をつなぎました。

そしてボランティアの方達に食事、シャワー、宿泊場所を提供出来るようになりました。

そのような中、車中泊をしながら女川から気仙沼に赴き、ボランティア活動をしている消防庁のレスキュー隊のOBの方達と出会い、トレーラーハウスを本拠地に活躍してもらうことになりました。

プロジェクトXで紹介された伝説の消防士「高野甲子雄氏」を中心に阪神淡路大震災の時に現役で活躍された元レスキュー隊の隊長OBの方達20数名が発起人となり「防災ボランティアドリームチーム集結」立ち上げることとなり、そのお手伝いをしてきました。

6月19日に発隊式を行いました。「チーム集結」は自衛隊などではできない、しかも一般のボランティアでは危険でできない作業を主体に何でもやっています。

そしてこのOB達を慕い、現役のレスキュー隊員や消防士の方達が非番日や休暇を取り、ボランティアに来てくれております。その宿舎としてトレーラーハウスが使われています。

この活動は息の長い支援を目指して長期間実施される予定です。

表記「応援する会」では「チーム集結」が十分に活動できるように資金的に応援していくことを目的としています。

今後必ず来るであろう、東海、東南海、南海地震やその他の災害時に備えるためにも、長期的支援活動を行う実効ある防災ボランティアグループを支援する「トレーラーハウスを活用しての体制づくり」を行ってまいりたいと思います。

いただいた資金の用途はトレーラーハウスの維持管理費と「チーム集結」の活動費となります。趣旨にご賛同頂ける方を広く募集致しております。是非皆様のお力をお貸しください。

トレーラーハウス所在地	宮城県気仙沼市東新城3-6	トレーラーハウス1号
代表	高橋恒雄	(元宮内庁主厨長) (発起人)
副代表	大山 稔	(カブコホームズジャパン(株)代表取締役) (発起人)
副代表	青木 繁	(元笠間市役所市長公室長) (発起人)
事務局長	山本光子	(アネシス学院(株)代表取締役) (発起人)
監査	年本逸人	(SKYゼミナール(株)専務取締役)
参与	藤盛 嘉章	(藤盛医院院長)

北海道支部長	夏川 憲彦	(元十勝毎日新聞編集委員)
宮城県支部長	菅原 英樹	(被災地すがとよ酒店)
福島県支部長	山本 光子	兼務
茨城県支部長	青木 繁	兼務
神奈川県支部長	鶴田 櫻	(元中学校長)
山梨県支部長	鷹野 栄子	(元公務員)
静岡県支部長	手塚 恵美子	(NPO 生きる生きる代表)
山口県支部長	河野 通明	(山口県物産協会筆頭副会長)
高知県支部長	中川 和恵	(元公務員)

以下、この会の活動経過と支援実績についてご報告ならびにご紹介申し上げます

平成23年4月10日 トレーラーハウス6棟を気仙沼市東新城3-9に設置
 平成23年6月19日 「防災ボランティアドリームチーム集結」発隊式に参加
 平成23年7月13日 「宮城県災害対策本部より正式に支援要請」を受ける。
 平成23年8月3日 「日本財団より東日本大震災・津波被害支援の助成金」が交付される。

- トレーラーハウス陸送風景と設置された6台のトレーラーハウスです。
 (こんなに大きなトレーラーハウスを陸送しますのでちょっと大変です)



隊員から軽トラック2台 応援する会から軽乗用車1台提供

日本財団よりのロゴマーク



電話、ファックス、携帯電話5台、インターネット接続のノートパソコン、冷凍冷蔵庫、ガスレンジ、洗濯機、乾燥機、水洗トイレ、シャワー等完備し食事を提供しています。

トレーラーハウス内部と二段ベッド

朝食風景

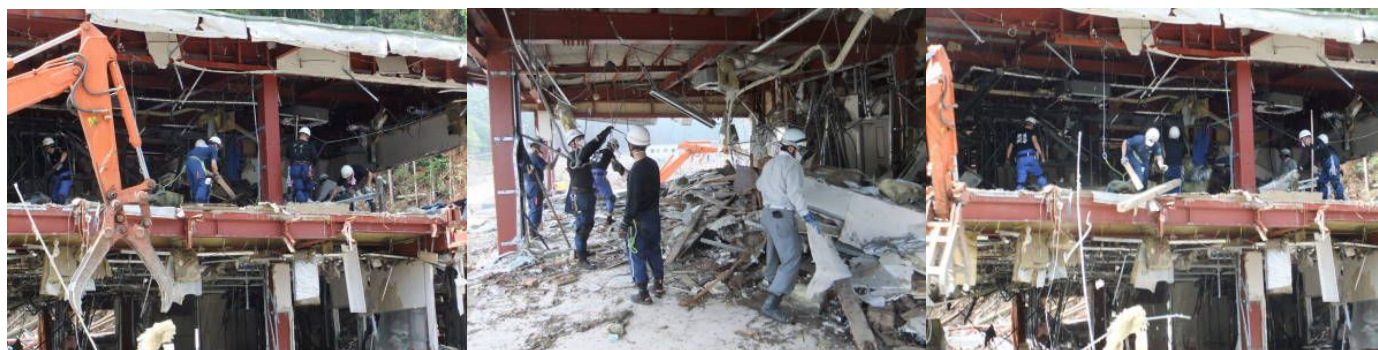


発隊式 小林隊長、高野隊長、渡辺隊長

制服で整列発起人一同



志津川消防署歌津出張所の片づけ



「防災ボランティアドリームチーム集結」活動風景です。 南三陸町防災対策庁舎片づけ

- このことが日本経済新聞、河北新報、三陸新報に掲載されました。

